一般社団法人アクト・ビヨンド・トラスト
2013 年度「ネオニコチノイド系農薬に関する企画」助成公募　公開プレゼンテーション

【日時】3 月 3 日（日）10:00～16:00
【会場】日比谷図書文化館スタジオプラス（千代田線霞ヶ関駅ほか、下記リンク参照）
http://hibiyal.jp/hibiya/access.html

お米から果物まで、ときには「減農薬」の切り札として用いられ、シロアリ駆除剤や防虫剤として身近な暮らしにも入り込んでいるネオニコチノイド系化合物（フィプロニルを含む）――。有機リン系農薬の代替物として 1990 年代に開発されて以来、国内外を問わず使用が急拡大するネオニコチノイド系農薬は、その浸透性・残効性・神経毒性から、ミツバチの大量失踪が示唆するように生態系と生物多様性全体を脅かすばかりか、子どもたちの脳の発達にも悪影響をおよぼす可能性が指摘されています。欧米では研究や規制が進みつつあり、最近 EU 議会も有害性に踏み込んだ政策を発表したばかりですが、日本ではまだ野放しに近い状態です。

NGO 市民活動支援基金アクト・ビヨンド・トラストによる 2 年目の公募に応え、一次審査を通過した 11 企画の公開発表会を下記のプログラムで開催します。ぜひご参加ください（入場無料）。

【プログラム】

10:15～10:25	開会あいさつ＋選考委員紹介	
10:25～10:45	丹羽　理	「ネオニコチノイド×写真」ネオニコチノイド問題の可視化プロジェクト
10:50～11:10	後藤純子	ミツバチの側からみた蜂群大量死の実態をひろめるプロジェクト
11:15～11:35	大木悦子	水田の農法履歴聞き取り・アンケートによる浸透性農薬使用実態調査
11:40～12:00	竹ノ内敏一	空中散布されたネオニコチノイドの飛散調査
12:00～13:00	昼休み	
13:00～13:20	ネオニコネット	ネオニコネット広報活動
13:25～13:45	ネオニコネット	ネオニコフリー・生き物認証システムの推進
13:50～14:10	一般社団法人日本在来種みつばち協会	ネオニコチノイド系農薬フリー地域づくり
14:15～14:35	NPO 法人河北潟湖沼研究所	河北潟地域におけるラジコンヘリ散布を行わないエリアの拡大とカメムシ米のブランド化
14:40～15:00	NPO 法人鹿児島県有機農業協会	ネオニコから大切な人を守りましょう！キャンペーン
15:05～15:25	NPO 法人鹿児島県有機農業協会	ネオニコチノイド系農薬等フリー認証（ネオニコフリー認証）普及プロジェクト
15:30～15:50	一般社団法人イノチネ	“自然農の里・岡山“から考えるネオニコ問題―最も有効な農薬削減策は使わないこと
15:50～16:00	連絡事項＋閉会あいさつ	

※　発表 10 分／質疑応答 10 分

abt ウェブサイトのトップに戻る